

平成 29 年度第 1 回庄原市初任者研修会

平成 29 年 4 月 19 日（火） 庄原市役所 4 階 会議室

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭 8 名，中学校教諭 6 名，養護教諭 2 名，主事 2 名】

【講話】「一步を踏み出す」

庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

【概要】

<子供のこと>

常に子供たちのことを考えて、業務を行うこと。学びたくて、伸びたいと思っている子供たちが学校にいる。しっかり、子供たちに教育的愛情を注いでいただきたい。庄原で学んで良かったと思う児童生徒、保護者を一人でも増やしてほしい。そのために、次の 3 点を心掛け、指導にあたること。

- ①学校、教員との良き出会いを。
- ②子供同士の良き人間関係を。
- ③学校、家庭、地域が一緒に行う教育活動を。

<基本姿勢について>

自らを磨いて、自ら成長しようとしているかについて常に振り返ってほしい。社会人として、次の 3 点に留意すること。

- ①期限を守ること。見通しをもった仕事をする。
- ②誠意をもって取り組むこと。
- ③何のために今の仕事を行うのかについて意識して実践すること。



(参加者の振り返りより)

- ◆ 庄原市の教育だけでなく、人の温かさや自然などを知り、庄原で教育できることに誇りを持ちたいと思った。
- ◆ 素直で、伸びたいと思っている子供たちとしっかり向き合い、教育的愛情をもって接していきたい。また、初任者として、学校や地域にどうやったら役に立てるのか考えながら誠意をもって日々取り組んでいきたい。
- ◆ 子供たちとしっかり向き合い、自分から挑戦していく教師になりたいと改めて思った。

【講話・演習】「児童生徒、保護者への適切な対応」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 高見 省吾

【概要】

保護者への対応については、日常的に連携を図るとともに保護者の思いを十分に受けとめて対応すること。また、生徒指導の意義や目標を踏まえ、児童生徒に自己指導能力を育成するとともに、問題行動への早期対応を適切に行うこと。(報告・連絡・相談・複数対応，早期対応，早期家庭連携)



(参加者の振り返りより)

- ◆ 学力を付けるだけが学校や教師の役割でなく、人としての成長を促す必要があることを痛感した。
- ◆ 事例をもとに対処方法を協議できてよかった。もし自分ならどう指導するか、実践的な視点をもって考えることができた。
- ◆ 保護者は、児童を通して教師を見ているのだと感じ、保護者と児童を別々に考えるのではなく、すべてが児童の姿に表れると思って、日々、児童生徒、保護者への対応をしていきたいと思った。